

伝統の灯次代へ

④

「おなかの中にいた

時から』会津磐梯山

芸妓衆は踊りや唄、

を聴いて育ったのよ。三味線で盆踊りに花を

会津若松市東山温泉の添える。芸歴が半世紀

芸妓（げいぎ）・美紀 ほどになる美紀子さん

子さんが笑みをこぼす。母も芸妓で、東山

と唄い手を持って盆踊りの唄（うた）

の唄、3層建ての木造

の頃、やくらに立って唄う母

の姿を今も鮮明に覚え

た。再開が決まり、

美紀子さんは胸をな

下ろした。

今夏、久々に灯がと

もる舞台。美紀子さん

の脳裏に、緊張感と高

揚感、唄う時の気持ち

良さがよみがえる。川

面に映るちようちんの

明かりも、格別の風情

があるとしみじみと思

う。

ただ、時代とともに

芸妓の数は減り、かつ

て5、6人いた唄い手

も、美紀子さんが担当

する頃にはベテラン2

人になった。毎夜交代

でやくらに立つ。休む

わけにはいかないた

ら受け継いだように、

次代の唄い手を育て、

伝統を紡いでいく。

戦時中に始まり、東

日本大震災も乗り越え

た盆踊りだが、新型コ

ロナ禍で4年間、中止

が続いた。「このまま

無くなってしまふので

力を込める。

う。

人口減少やレジャー

の多様化で、祭りや伝

統行事の継承は決して

容易ではないと感じ

る。それでも「多くの

人に芸妓の唄を届け続

けたい」と願う。母か

ら受け継いだように、

次代の唄い手を育て、

伝統を紡いでいく。

芸妓

誇りを胸に唄い継ぐ



芸妓が大やぐらで唄う「会津磐梯山」が夜空に響く東山盆踊り—2015年8月

た」。再開が決まり、

美紀子さんは胸をな

下ろした。

今夏、久々に灯がと

もる舞台。美紀子さん

の脳裏に、緊張感と高

揚感、唄う時の気持ち

良さがよみがえる。川

面に映るちようちんの

明かりも、格別の風情

があるとしみじみと思

CFで支援呼びかけ

東山盆踊りは8月1日から4日まで会津若松市東山温泉で開かれる。実行委員会は7月22日までクラウドファンディング（CF）で支援を呼びかけている。問い合わせは東山温泉観光協会 電話0242(27)7051へ。



東山盆踊りのクラ
ウドファンディン
グのQRコード